

要求の明確化で対応も明確に

ISO 14001 入門書の改訂版



マネジメントシステム規格を分かりやすく説明した入門書シリーズの第2巻「ISO 14001入門」が、2004年改訂に対応して改訂された。第1章はQ&A、第2章以降は解説というスタイルが踏襲されている。Q&Aに「2004年の改訂で何が変わったのでしょうか？ また、組織の審査対応はどうなりますか？」という質問が追加された。これに対して、規格のここが悪いから改訂しよう、というのではなく、ISO 9001との両立性の向上、要求事項の明確化を目的に改訂されたもので、環境マネジメントシステムの範囲、環境側面の特定、法規制及びその他の要求事項の順守、環境事故対応については、ISO 14001 認証の価値をより高めるためにとくに注意が払われ、また、要求事項の明確化で解釈の幅が狭くなった分、旧版よりも厳格な対応が求められるとしている。

やさしいシリーズ2
2004年改訂対応
ISO 14001入門

吉村秀勇 著

発行所：日本規格協会 (TEL.03-3583-8002)
発行日：2005年1月13日(改訂版)
定価：本体900円＋税
体裁：A5判、117頁

顧客の満足度と信頼性を勝ち取る

食品安全 マネジメントシステムとは？



本書は、アイソスでも度々取り上げている「ISO 22000：食品安全マネジメントシステム」のDIS版をもとにまとめられたもの。「中小の食品関連企業が生き残るための手段は食品安全マネジメントシステムである」という前提にたって、とくに顧客の満足度と信頼性を勝ち取るためのMS構築に重点を置いて解説している。「ISO 22000要求事項の解説」、「規格の使用に関する手引きの解説」、「HACCPシステムの基礎となる前提条件プログラム」、「食品安全衛生の前提となる条件 (PP、SSOP)」、「ISO 9001：2000の構築・解説」そして「HACCPシステム構築」といったテーマのもと、実例を盛り込んだ内容が繰り広げており、導入を検討している組織にとってお助けの一冊になるはず。また知識習得のために随所に「食品安全豆知識」を挿入するなど、読者の満足度アップをねらった誌面展開もなかなかなもの。

ISO 9001+HACCPからのステップアップ
ISO 22000 食品安全マネジメントシステム
構築のポイント

小川 洋 著

発行所：日刊工業新聞社 (TEL.03-5644-7410)
発行日：2004年12月20日
定価：本体3,600円＋税
体裁：B5判、252頁

2004年版改訂対応

やさしくかつ 真摯な実践書



「環境負荷低減にまじめに取り組みたいが、どこから手を付ければよいのかわからない」、「ISO 14001を導入して環境に配慮した経営を行いたいが、規格や制度の知識が乏しい」といった方々に読んでいただきたいのが本書。タイトルに「ISO 14001」の文字が入っているが、規格については、詳細な解説が載っているわけではなく、あくまでエッセンスが載っているだけ。この本で述べられているのは、むしろ実践の方法である。地球環境に対して何ができるのか、何をテーマにしてISOに取り組むのか、自分が推進役になったら何をすればよいのか、といった行動の指針が示されている。また、忘れてはいけないのがISO 14001の利害関係者は周囲の人々すべてであること。さまざまな関係者にどう対応するのかについても1章設けている。

2004年改訂対応
生き生きISO 14001
一本音で取り組む環境活動一

国府保周 著

発行所：日本規格協会 (TEL.03-3583-8002)
発行日：2005年1月13日(改訂版)
定価：本体1,300円＋税
体裁：新書判、191頁